

消防団員、市民安全パトロール隊員
として活動してくれる方を
募集します。

流山市市民安全パトロール隊



参加しませんか!



流山市消防団

地域を「見守る」のが
私たちの活動です。
ながれやまの明日のために
行動を起こしましょう。

近年、まちの姿が変わってきています。まちには人が行き来し、生活はあるものの、かつてのご近所つき合いや助け合いの関係が薄れ、「まちを見守る目」が昔に比べて少なくなったようです。また、「自分たちのまちは自分たちで守る」といった意識も薄らいでいます。

これは流山市だけではなく、日本全体にいえることかもしれません。こうした時代にこそ住むまちに愛着を持ち、すべての人が安全に、安心して過ごせる地域を築いていかなければなりません。流山市消防団、流山市市民安全パトロール隊はその一翼を担うものです。どうかこの活動にご参加ください。

「もしもの時」にまちを
守ることが
私たちの役目です。
多くの方の力を
必要としています。

自分たちのまちは、

▶消防団とは

地域防災の要となるのが まちの消防団

消防組織法に基づき各市町村に設置される消防機関。消防署が「常備消防機関」としたら、消防団は「非常備の消防機関」と位置づけられる。突発的に起こる災害から地域住民を守ることがその役割であり、火災発生時の消火活動、地震や風水害など自然災害における救助・救出活動、避難誘導を行う。また平常時には、高齢者宅への防火訪問、地域での防災訓練・講習会など防火啓発活動も実施する。団員は会社員、自営業、主婦など一般市民で構成されるが、消防本部などの職員と同じく、権限と責任を持った非常勤特別職の地方公務員である。

江戸時代の「町火消」がそのルーツ

流山市消防団



団員インタビュー

消防団を通じて 人間関係に広がり

流山市消防団第14分団
長谷川 英之さん(東初石在住)

消防団に入っている上司のすすめで、4年前に入団しました。消防団は地域を守る存在であると常に思っています。以前電線から出火し、電力会社が到着するまで交通整理をしたことがありましたが、このように地域の事情にあわせた迅速な働きができるのが消防団ではないでしょうか。

私は生まれも育ちも流山市ですが、実は入団するまで消防団についてまったく何も知りませんでした。入団すると当然、消防・消火訓練があるわけですが、正直驚きましたね(笑)。長いホースを持って走ったり、ポンプ車を操ったり…。フットサルのクラブに入っているので走ることは得意なのですが、訓練はまったく今まで経験したことのない動きでした。2年目からは慣れ、大会もあるのでさらに技術を磨いているところです。

活動は定例会、消防・消火訓練、地域の防災訓練やお祭りでの防災指導、年末の夜警、出初め式などがあります。基本的には自分のペースで活動できますので、負担に感じたことはありません。むしろ地域の先輩たちとのつながりができ、このまちに住んでいることが楽しくなっています。

家族インタビュー

団員の家族は消防団活動をどう見ているのでしょうか？

夫の消防団活動は生活の一部

結婚してすぐに、夫が消防団第12分団に入団。まわりに家が少なく、知り合いもまったくいなかったで、「なんらかの形で地域とコミュニケーションをとりたくて」というのが入団の理由です。結果、地域とのつながりを持って、友人もできましたので、私にとってはそれがなにより一番良かった点ですね。出産、子育て、入学といった家族の成長の側にいつも団員の皆さんがいてくださるという感じで、消防団は大きな家族といった存在です。入団21年目となり、今は若い団員たちの「アネキ」をやっています(笑)。

訓練や大会は、家族でよく見に出かけます。消防団の活動は私たちの生活の一部、家族のイベントでもあるんです。夫が地域に貢献している姿を見ることで、子どもたちが何かを感じてくれればと思いますね。もしもの時ですか？ 家は私が守ります！



廣木 美恵さん
(平方在住)



隊員インタビュー

地域と市、警察、学校などとのパイプ役として

小沢 祥一さん(流山在住)

退職して時間の余裕ができたので、広報の募集記事を見て応募しました。隊員になって4年目、住民の方から「ごころうさま」など声をかけていただける時が何より嬉しいです。

私たちの活動は出発前のミーティングから始まります。市や学校、警察などから入った情報をもとに、重点的に巡回する場所を確認し、3人1組になって出かけます。時間は約2~3時間。巡回中に気づいた点、不審者の目撃、不審車両や違法駐車などについては業務日誌で市へ報告し、なんらかの対策をとってもらいます。私たちの活動はパトロールだけではなく、このように地域と市、警察とのパイプ役を務めることも大きな意味のあることだと思っています。

悲しいことですが、昔に比べ悪質な犯罪、社会ルールを守らない人、まちに関心のない人が増えていると感じます。パトロール隊事務所には毎日、地域で発生した事件の報告がファクスで入ってきます。これを見て巡回内容を定めるわけですが、ファクスの入らない日はありません。私たちの活動が犯罪の発生を未然に防いだり、事故を起きにくくしたり、明るいまちづくりの役に立てばと願っています。

流山市市民安全パトロール隊

青パトに乗った流山市独自の自警団

▶市民安全パトロール隊とは

安全で犯罪のない 明るい地域づくりのために

流山市独自の取り組みとして、平成17年に設置。青色回転灯装備車(通称:青パト)3台で流山、新川、八木地区の3地区をパトロールする。地元警察、学校、市役所との連携を図りながら巡回を行い、犯罪抑止、事故・災害の未然防止、まちの環境改善など、健全なまちづくりのために力を発揮している。

隊員は市内に在住・在勤の方々と構成される。活動は休日・祝日関係なく、年間を通じて行われる。巡回時間は主に午後と夜間であるが、緊急の要請があった場合には、時間に関係なく出動。現場周辺をパトロールする。



派出所インタビュー

市民安全パトロール隊について、地域のお巡りさんに聞いてみました

犯罪抑止の取り組みとして効果抜群

「パトロール隊の皆さんが、近所をまわってくれるから安心」という声は、よく市民の方から聞いています。防犯の第一歩は地域に「目」があることです。誰かが見ている、関心を持っているということが大切なんです。よく「挨拶をしましょう」といいますが、これはマナーという観点からだけで言われるものではありません。隣近所の方に挨拶をする、声をかけることは、「あなたに無関心ではないですよ」というアピールになります。そうした意識の行き渡った地域には、怪しい人は入りづらい。入っても「見られている」と感じますから、犯罪にはつながりにくくなります。

パトロール隊の活動は、まさに地域の関心度をあげる取り組みです。一般の市民の方が活動されていることで、まち全体の防犯意識も高まっているのではないのでしょうか。



流山中央交番
鵜沢 達哉 巡査

自分たちの手で

募集要項

ご応募ください!



流山市民安全パトロール隊

—「ながれやま」の安心安全のために—

現在71人の隊員が、祝祭日に関係なく市内全域のパトロールを実施しています。今後は90人体制を確保し、組織の強化を図り、より充実したパトロールを展開して行こうと考えています。ぜひ皆様のご協力をいただいて、犯罪のない「ながれやま」を築いて行きましょう。

【募集内容】

資格/市内在住・在勤の方(性別不問)で、日中または夜間のいずれかに従事できる方

年齢/70歳未満で体力に自信のある方

待遇/報酬なし(ボランティア)。制服などは支給

活動/市内全域の巡視、犯罪多発地域やパトロール要請地域での重点巡視、地域安全と生活環境に関わる啓発・広報活動、市から緊急に出勤要請のあった活動

※青色回転灯装備車で巡回しますが、運転免許をお持ちでなくても問題ありません。

※入隊後、緊急時に備えて「普通救命講習」などの研修会を行います。

【申し込み方法】

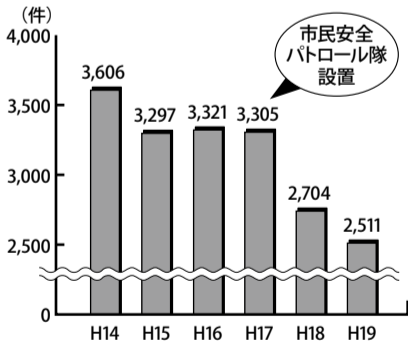
住所、氏名(ふりがな)、年齢、性別、電話番号に、応募理由(50字程度)を添えて、安心安全課に直接、または郵送でお申し込みください。様式は自由です。

問い合わせ先/市民生活部 安心安全課 防犯対策係 ☎7150-6312

○ 犯罪率が減っている! ○

平成17年に市民安全パトロール隊が設置されて以降、市内で起こる犯罪は減少傾向にあります。これは定期的に巡回することが犯罪発生の未然防止となっているほか、市民の防犯意識が高まり自治会などもパトロールを積極的に行うようになったこと、市との協力により放置自転車や不審車両が撤去され環境改善につながったこと、などによると考えられます。

■ 流山市犯罪発生状況の推移 (件)



流山市消防団

—あなたの方を必要としています!—

流山市消防団(全23分団)は大規模災害時をはじめとして、地域の安心と安全確保のために大きな役割を果たしています。ところが近年は高齢化が進み、また団員定数355人のところ297人となり団員の数は減少傾向にあります。災害はいつ襲ってくるかわかりません。災害が起こった時に自分の住んでいる地域を守るために、消防団ではあなたの方を必要としています。

【募集内容】

資格/市内在住・在勤の方(性別不問)

年齢/18歳以上

待遇/非常勤特別職の地方公務員として、年額報酬や退職報奨金、出勤手当が支給され、公務員災害補償などが受けられる。制服などは支給

活動/消火活動、救助・救出活動、防災活動、防火啓発活動、応急手当など講習会の開催、高齢者訪問

【申し込み方法】

消防総務課に直接、または電話でお申し込みください。

問い合わせ先/流山市消防本部 消防総務課 管理係

(流山市三輪野山1-994) ☎7158-0299

○ 女性も団員になれる! ○



佐藤 敦子さん
(西初石在住)

女性も団員として活動できるのをご存知ですか?佐藤さんは、広報紙で消防団員募集の記事を見て応募。女性消防部の一員として、活動歴12年になります。

「子どもが幼稚園に入園したのをきっかけに応募しました。外へ出て何かしたかったのが、それが地域のためになればと思ひまして。女性団員も規律や放水などの訓練を受けますが、防火啓発や予防広報がその役割となります。火災が多い時期は単身高齢者のお宅を訪問し、暖房器具の点検やコンセントの安全確認などを行います。私は普通の主婦ですが、身につけた防災や救急の知識を地域の安全と安心に生かしていきたいです」

井崎市長からのメッセージ



あなたのパワーを活かしませんか

本市の人口は間もなく16万人になります。つくばエクスプレス沿線のまちづくりが進み、流山市は首都圏の中堅都市として発展を続けています。こうした中、高齢化や都市構造の変化など、私たちを取り巻く社会環境も変わってきていますが、市民の生命と財産を守り、安全で安心な街づくりを進めることは極めて重要な施策です。

そして、その一翼を担っているのが、本市の消防団活動や市民の方々による防犯パトロール活動です。市内で働く方々を中心に約300人で構成される消防団活動は、発足以来50年以上の歴史を持ち、市民の命と財産を守ってきました。月数回の訓練や年末特別警戒などの活動を展開し、火災時や水害時などの出動に際しては、市民の方々から多くの感謝の言葉をいただいています。

また、平成17年に発足した「流山市民安全パトロール隊」は20代から70代の男女71人が、年中無休で青色回転灯装備車によるパトロールを実施し、犯罪の抑制に貢献しています。千葉県で唯一の全市域を対象としたボランティア防犯組織として注目されていますが、さらに多くの方の力を必要としています。

「安全で安心な街づくり」を揺るぎないものにするためにも、ぜひ、消防団や市民安全パトロール隊へのご応募をお待ちしております。